

デザイン酒器「Tri Tura」

山嘉商店(株) (越前市)

平成 21~22 年度 技術相談、依頼試験

問合せ先 山本一恵、デザイン推進室



背景と経緯

業務用漆器素地のプラスチック成形を生業とする山嘉商店(株)は、平成 21 年より自社初のオリジナルブランド開発に取り組み、最初の開発テーマを酒器としました。そして、デザイン設計と製品試作に関して福井県工業技術センターに技術相談を求めました。

その結果、持ちやすさや形状バランスが整った完成度の高いデザインの酒器を開発でき、「Tri Tura」のブランド名で発売しました。

成果と製品化の状況

コンピュータの三次元画像で物体の形状を決め漆器素地サンプルを試作できる「3Dモデリングシステム」を製品開発工程に取り入れることで、これまでに比べ、企画立案から製品完成までの時間短縮、デザイン精度の向上、そして試作コストの削減が実現しました。

こうして開発された酒器「Tri Tura」は、(公財)ふくい産業支援センターデザイン振興部のプロモーション支援も受け、平成 22 年度に近畿経済産業局主催「関西デザイン撰」の選定を受けました。「DESIGN TOKYO 2010」にも出展し、現在は、銀座の有名ジュエリーショップの販促品への採用や、東京デザインセンター等のデザインセレクトショップ等で販売が実現し、全国のインテリアショップに対しての販路拡大も図っています。



試作品



完成品